

1. 大井田隆理事から平成17年度事業報告について資料に基づき説明が行われた。

2. 中村好一理事から平成17年度収支決算について資料に基づき次のとおり説明が行われた。

(1) 収入のうち会費収入は前年度の未納者の会費の納入により予算額より5,288,000円増収、雑誌販売収入も書店を通しての購入が多かったため予算額より1,007,680円増収、雑収入は書店からの抄録集申込みが多数あったため、予算額より289,951円増えた。しかし、会誌の掲載料を51巻11号から学会負担分が30%から70%となったため掲載料収入は2,617,140円、また、会誌広告料収入は644,000円減収となった。全体としては予算額より3,377,028円増えた。

(2) 支出のうち管理費については、旅費交通費が予算額より171,740円増となった。事業費は、奨励事業費が副賞の増額により、1,382,923円増となり、会誌発行費の編集費も通信運搬費の増により2,242,850円増となったが、会誌作成発送費が予算額より6,104,105円抑えられたので、総額では5,861,255円減となった。委員会活動を活発に行ったため調査活動費は予算額より2,454,555円増となった。IT化関係費積立預金支出は特に今必要ないので積み立てないこととし、代わりに選挙費用積立預金支出を2,000,000円とした。

(3) 収支差額13,337,843円は、平成18年度に繰り越すこととする。

(4) 第12回役員選挙は平成16年度と17年度にまたがって行われた。当初は、会員登録を4,000人として予算を組んだが、実際には1,838人の登録に留まり、支出は予算額より、2,636,481円少ない2,363,519円であった。

宮武光吉監事から平成17年度事業報告および収支決算について、7月20日に岡崎勲監事と監査を行った結果、適正に管理運営されているとの監査報告が行われた。本件については、審議の結果了承され、評議員会に諮り、総会に報告することとした。

また、会費納入の振替用紙を機関誌に入れ込むのではなく、別に郵送した方が効果的に会費を集められるのではないかと意見が出され、郵送方法等を事務局で検討することとした。

第5号議案 平成19年度事業計画および収支予算(案)について

1. 大井田理事から平成19年度事業計画(案)について資料に基づき説明が行われた。

2. 中村理事から平成19年度収支予算(案)について資料に基づき次のとおり説明が行われた。

(1) 会員数を8,400人で会費収入を見込んだ。

(2) 総会運営基金を取り崩すこととした。

(3) 会員名簿作成費と役員選挙の準備のための費用を計上した。収支差額を0にするため、財政調整積立預金から、6,700,000円取崩すこととした。

以上について、本議案は了承され、評議員会に諮ることとした。

研修の充実を図るため、総会時に開催される教育講演等の費用に研修費の中から補助することとした。

第6号議案 名誉会員について

近藤健文名誉会員担当理事から平成18年度の名誉会員候補者として推薦する方が紹介され、審議した結果、次の方々を理事会において推薦し、評議員会、総会に諮ることとした。

青山英康氏 入山文雄氏 多田 學氏

平山朝子氏 前田信雄氏

第7号議案 個人情報保護規定等について

遠藤理事欠席のため、大井田理事から、前回の理事会で指摘があった保有個人情報の取扱いに従事するものを明確にして作成した旨説明された。

以上について、本議案は了承された。

また、保有個人情報の利用についても別に定めることとし、庶務会計広報連絡会議で検討することとした。

第8号議案 奨励賞について

鏡森学会長(奨励賞選考委員長)から6月16日開催した奨励賞選考委員会の結果を受け、平成18年度の奨励賞受賞者推薦について報告が行われた。

實成理事長から今年度の奨励賞については、選考委員会の結果を踏まえ、次のとおり表彰したいので、本理事会においてご了承いただきたいとの提案があり、了承された。

1. 森田 一三 8020疫学的調査研究と歯の喪失予防介入研究

2. 新開 省二 地域高齢者におけるタイプ別閉じこもりの疫学的研究

3. 中林美奈子 地域・職域連携の基盤づくり 保健師・産業看護職のネットワーク化に向けての

取り組み

4. 岸本 益実 地域保健分野の人材育成に資するケースメソッド手法・教材開発等への取り組み

報告事項

1. 委員会報告

1) 編集委員会

吉田勝美理事から、①新編集委員、新査読委員、②機関誌のA4判化について、③学会倫理審査委員会の設置について説明が行われた。

機関誌のA4判化と学会倫理審査委員会設置については、庶務会計広報連絡会議で検討することとした。

2) 21世紀の公衆衛生研究戦略委員会

柳川洋委員長から21世紀における公衆衛生研究の課題についてのアンケート調査について、調査内容と送り先について報告があった。

歯科大学にも調査をして欲しい旨要望があり、送付先リストをもらい次第、調査表を発送することとした。

3) 生涯学習・研修委員会

上島弘嗣委員長から8月24日～26日にかけて開催される「公衆衛生活動・研究論文の書き方研修」について説明が行われた。

4) 地域保健医療福祉委員会

阿彦忠之委員長から下記の報告が行われた。

(1) 「介護予防フォーラム」の企画の説明

(2) 「介護予防フォーラム」は富山県介護予防研究会と共催することとなった。

(3) 厚生労働省に新規禁煙治療薬の優先審査および保険適用に関する禁煙関連10学会合同要望書を提出した。

(4) 禁煙推進学術ネットワーク委員長から11学会合同による「JR各社に対する列車およびホームを含む駅構内全面禁煙化の要望について」参加の依頼がきている。これについては検討の結果、参加することとし、要望の内容、文言については、各理事から意見を聞き、理事長と阿彦委員長でまとめる。

感染症専門委員会

角野文彦委員長から6月19日に開催した委員会で、今期は日本の感染症危機管理を全体レビューし、今後の方向性を示すこととした旨報告された。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する委員会

村嶋幸代委員長、平野かよ子理事から、保健師のコアカリキュラム案への意見の募集について説明があり、検討の結果、機関誌とホームページに意見募集の案内を掲載することとした。

6) 専門職制度検討委員会

相澤好治委員長が欠席のため、實成理事長から富山での総会時に開催する公衆衛生行政フォーラムの内容について説明が行われた。

7) 庶務会計広報連絡会議

大井田理事から6月19日開催の会議について報告があり、IT利用ガイドライン、機関誌のA4判化及び学会総会の負担金について検討した旨報告された。

三浦宣彦理事から、IT利用ガイドラインについて説明があり、その後、文言について検討した。

2. その他

實成理事長から科学技術政策研究所からの調査における回答候補者推薦のお願いについて説明が行われた。

次回理事会 10月24日10時から 富山県民会館にて開催。

以上で議事を終了し、實成理事長が閉会を宣した。

平成18年度第3回日本公衆衛生学会理事会議事録

I. 日 時 平成18年10月24日(火)10:00～12:10

II. 場 所 富山県民会館401

III. 出席者 理事長 實成文彦
 学会長 鏡森定信
 副会長 鎌仲 博 岩元達弘
 理 事 足立己幸 阿彦忠之
 畝 博 遠藤 明
 大井田隆 上家和子
 近藤健文 高岡道雄
 中川秀昭 中垣晴男
 中村好一 平野かよ子
 本橋 豊 三浦宣彦
 村嶋幸代 柳川 洋
 吉田勝美 (21名)

監 事 岡崎 勲 宮武光吉 (2名)

委任状提出者

副会長 福田 孜 (1名)

理事 相澤好治 五十里明
 上島弘嗣 角野文彦
 岸 玲子 児玉和紀
 小林廉毅 篠崎英夫

(8名)

オブザーバー

小西正光(愛媛大学医学部公衆衛生学教授)

以上 理事現在数30名 出席理事21名 委任状
 提出理事9名

学会規定第13条第1項による定数に達している
 ことを確認の後、實成文彦理事長が議長となり開
 会を宣した。議事に先立ち實成理事長から鏡森学
 会長はじめ富山県、富山市、富山大学等の関係者
 のみなさんに対する感謝の挨拶があった。

議事録署名人選出

議事録署名人に、大井田隆、高岡道雄両理事が
 指名された承された。

議 事**第1号議案 第65回(平成18年度)日本公衆衛生
学会総会について**

鏡森定信学会長から、今回の総会に対する富山
 県と富山市の絶大なる協力と関係者に対するお礼
 と今回の総会参加への歓迎、また、今回のメイ
 ンテーマ「健康な社会」が県の施策と合致したこ
 ともあり、今総会を全国の研修の場にして欲しいと
 の挨拶があった。

以上により、本議案は了承された。

**第2号議案 第66回(平成19年度)日本公衆衛生
学会総会について**

小西正光次期学会長から準備状況について下記
 のとおり説明があった。

会 期：平成19年10月24日から26日

会 場：愛媛県県民文化会館 愛媛県総合社会
 福祉会館 愛媛看護研修センター

テーマ：地域保健—その原点に返り未来を展望
 する—

特別講演(予定)：早坂暁先生 辰濃和男先生

以上により、本議案は了承された。

**第3号議案 第67回(平成20年度)日本公衆衛生
学会総会について**

實成理事長から、理事会においては了承されて
 いるが、第67回日本公衆衛生学会総会は、福岡県
 福岡市で開催し、学会長については福岡大学医学
 部教授の畝 博先生をお願いすることを、本日午

後開催の評議員会、明日開催の総会に諮る旨の提
 案がされ、了承された。

畝理事から、11月に実行委員会を開催し、メイ
 ンテーマ、運営組織等を決めていきたいとの説明
 があった。

以上により、本議案は了承された。

第4号議案 評議員会・総会議事について

大井田理事から資料に基づき、評議員会の議事
 進行と総会議事進行の確認が行われ、原案どおり
 了承された。

第5号議案 その他

1. 研究倫理審査委員会規定について

大井田理事から第3回庶務会計広報連絡会議等
 で検討した、研究倫理審査委員会規定(案)につい
 て説明があった。

検討の結果、研究倫理審査委員会の設置を決め
 ることとし、規定の修正点を事務局宛知らせるこ
 ととし、規定が整い次第早急に委員会を発足させ
 たいため、人選は理事長に一任することとした。

2. 科学者の行動規範の自立的実現を目指して

實成理事長から日本学術会議から出された「声
 明 科学者の行動規範について」説明があった。
 研究倫理審査委員会と別に倫理委員会を設置する
 ことについて庶務・会計・広報委員会で検討する
 こととした。

報告事項

1. 委員会報告

1) 編集委員会

吉田勝美編集担当理事から下記のとおり報告が
 あった。

1. 明日25日に拡大編集委員会を開催する。
2. 今年11月号以降、和文と英文を混合で発行
 する。
3. 投稿状況の報告。

2) 21世紀の公衆衛生研究戦略委員会

柳川洋委員長から第2回委員会の報告があった。

1. 各委員のアンケート調査のまとめの分担を
 決め、12月中旬までに作業を終えることとし
 た。

2. APHAの発表演題の要約を作成することと
 した。

3) 生涯学習研修委員会

上島弘嗣委員長欠席のため、大井田理事から10

月6日に開催した第2回委員会について次のとおり報告があった。

8月に開催した論文の書き方研修会について点検評価した。研修は好評であり、詳しい内容は明日からのブースで紹介する。滋賀医科大学福祉保健医学部門講座には感謝したい。次回の改善点も明確になっているので、来年度も滋賀医科大学にお願いすることとした。

4) 地域保健医療福祉委員会

阿彦忠之委員長から明日のフォーラムについて報告があった。

1. 介護予防フォーラムは一般公開する。
2. 富山県介護予防研究会をとおして富山県内にはお知らせしている。

また、實成理事長からメタボリックシンドロームに関連して、委員を数名増員してこの委員会で検討してはどうかとの提案があり、了承された。

小西次期学会会長からは、大変重要な問題であり委員会で検討したことを来年の学会総会につなげたいとの発言があった。

平野かよ子理事からは、医療制度改革も視野に入れて検討してほしい。課題が複数あるので、混乱しないように検討して欲しい旨要望があった。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する委員会

村嶋幸代委員長から、ホームページに掲載したアンケートに8名から返答があり、肯定的な意見をいただいた。26日にフォーラムを開催し、議論を深めたいとの報告があった。

6) 専門職制度検討委員会

相澤好治委員長欠席のため、實成理事長から10月6日に開催した第2回委員会について報告があった。

専門職制度全般について意見がかわされ、日本公衆衛生学会専門職認定制度についても委員長の試案を基に活発な意見が交換された。これらを明日のフォーラムにつなげ検討していくこととする。

7) 庶務会計広報連絡会議

大井田理事から8月28日開催の会議について報告があった。

1. 研究倫理審査委員会を編集委員会とは独立させて設置する方向で検討し、規定等を作成するためワーキンググループを作ることとした。
2. 学会機関誌をA4判化することとし、今理

事に諮ることとした。検討の結果、54巻1号からA4判とすることとなった。

3. 保有個人情報の利用規定を作成することとした。
4. 総会時のブースは、委員会活動の紹介等を掲載することとした。

以上をもって、理事長が閉会を宣した。

次回理事会は平成19年1月23日(火)1時半から東京厚生年金会館で行う。

平成18年度日本公衆衛生学会評議員会議事録

I. 日 時 平成18年10月24日(火)13:00~14:30

II. 場 所 富山県民会館 401

III. 出席者 59人 委任状提出者 153人
合計 212人(現在員数 257人)

事務局から学会規定第15条2項による出席評議員が定足数に達した旨の報告の後、鏡森定信学会会長が議長となり開会を宣言した。議事に先立ち鏡森学会会長から歓迎の挨拶、實成文彦理事長から本総会開催のために協力いただいた関係各位に対する御礼の挨拶があった。

議事録署名人には、上村桂評議員と近藤健文理事が指名された。

報告事項

1. 平成17年度会務報告

大井田隆庶務担当理事から資料に基づき、学会庶務に関する事項、学会総会、奨励事業、学会機関誌発行等の事業全般について報告があった。

2. 委員会報告

1) 編集委員会報告

吉田勝美編集担当理事から次のとおり報告があった。

- 編集委員会は毎月1回開催し、機関誌も順調に発行している。

- 平成17年度の投稿原稿数は和文論文122編、英文論文が26編あった。

- 採用状況は、和文は前年度以前の投稿分をふくめて採用59編、審査継続中118編、不採用40編で、英文は採用11編、審査継続中2編、不採用13編であった。

- 掲載論文数は和文62編、英文11編で72編、投稿から掲載までの期間の平均は、和文で11.2月、英

文で6.5月であった。

• 投稿から1回目の返事までは和文で3.4月、英文で2.2月であった。

2) 公衆衛生研修委員会

大井田委員長から次のとおり報告があった。

• 平成17年8月31日まで活動した。ホームページと郵送により「日本公衆衛生学会の今後の活動に関する調査」を行い、結果は機関誌52巻7号に掲載した。

3) 地域保健委員会

阿彦忠之委員長欠席のため大井田理事から次のとおり報告があった。

• 平成17年8月31日まで活動した。17年度は委員会を3回開催し、学会総会時には「虐待予防フォーラム」と緊急講演会「アスベスト対策の課題と展望」を開催した。

4) 感染症対策委員会

角野文彦委員長欠席のため、大井田理事から次のとおり報告があった。

• 平成17年8月31日まで活動した。17年度は委員会を3回開催し、学会総会時には感染症フォーラム「HIVの拡大について地域はどう対峙すべきか」を開催した。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

村嶋幸代理事から次のとおり報告があった。

• 平成17年8月31日まで活動した。17年度は委員会(ワーキンググループ会議)を2回開催し、ワークショップを2回開催した。

6) 21世紀の公衆衛生研究戦略委員会

柳川洋委員長から次のとおり報告があった。

• 平成17年9月12日から活動を開始した。平成17年度は委員会を2回開催し、これからの活動について話し合った、その結果、評議員、編集委員、各大学医学部・看護学部(単科大学を含む)の公衆衛生学教室あて「21世紀における公衆衛生研究の課題について」アンケート調査を行い、現在集計中である。

7) 生涯学習・研修委員会

上島弘嗣委員長が欠席のため大井田理事から次のとおり報告があった。

• 平成17年9月12日から活動を開始した。平成17年度は委員会を2回開催し、委員会のあり方と18年度中にできる研修について検討した。その結果、今年8月に「公衆衛生活動・論文の書き方研

修」を開催し、盛況に終了した。

8) 地域保健医療福祉委員会

阿彦委員長が欠席のため大井田理事から次のとおり報告があった。

• 平成17年9月12日から活動をした。平成17年度は委員会を2回開催し、これからの活動について話し合った。その結果、介護予防を取り上げ、明日、「介護予防フォーラム」を開催する。

• 先ほど理事会で、メタボリックシンドロームについて検討するため、委員を増員し、活動することとなった。

9) 公衆衛生看護のあり方に関する委員会

村嶋委員長から次のとおり報告があった。

• 平成17年9月12日から活動をした。平成17年度は委員会を3回開催し、これからの活動について話し合った。現在、ホームページで「保健師の基礎教育およびコアカリキュラム2006(案)について」意見を募集中であり、明後日フォーラム「様々な場で働く保健師に必須な能力と教育内容の明確化」を開催する。

10) 専門職制度検討委員会

相澤好治委員長が欠席のため実成理事長から次のとおり報告があった。

• 平成17年9月12日から活動をした。平成17年度は委員会を2回開催し、委員会の目的、専門職制度の必要性、今後の活動について話し合った。明日、フォーラム「公衆衛生専門職について」を開催する。

3. その他

大井田理事より中富健康科学振興財団から平成17年度健康科学の発展に功績のあった研究者として曾田研二先生が顕彰された旨報告があった。

議事

第1号議案 平成17年度収入支出決算(案)について

遠藤明会計担当理事から、資料に基づき平成17年度収入支出決算(案)について次のとおり説明があった。

1. 収入の部で会誌掲載料収入は、著者の掲載料負担を30%としたので会誌掲載料収入は260万円ほど減収している。会誌広告料も64万ほど減収している。今後購入する物品を備品扱いしないこととしたため、備品購入積立預金を取り崩した。

2. 支出のうち管理費、事業費は予算内で納めることができた。事業費のうち奨励事業費は昨年より1人30万円の副賞としたため予算より多く支出することとなった。調査活動費は活発な委員会活動を行ったため、支出増となった。

3. 収支差額10,239,677円は、平成18年度に繰り越すこととする。

宮武光吉監事から平成17年度収入支出決算は適正であるとの監査報告がなされた。

以上の説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

第2号議案 第12回役員選挙費用決算(案)について

遠藤理事から第12回役員選挙費用決算(案)について、選挙人登録を4,000人ということで予算をたてたが、実際には1,838人の登録であったため、予算よりかなり低い支出となった。

以上の説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

第3号議案 平成19年度事業計画(案)ならびに平成19年度収入支出予算(案)について

大井田理事から平成19年度の事業計画(案)について第66回学会総会、奨励事業、会誌の発行、会員名簿の発行、委員会活動、第13回役員選挙について説明があった。

遠藤理事から、資料に基づき平成19年度収入支出予算(案)について次のとおり説明があった。

1. 平成19年度収入支出予算(案)については平成17年度の実績に基づき編成した。

2. 総会運営基金を取り崩すこととした。また、会員名簿作成費と役員選挙の準備のための費用を計上した。

以上の説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

第4号議案 名誉会員の推薦について

近藤健文名誉会員担当理事から、理事会で承認された次の5名を名誉会員に推薦したい旨の提案があった。

青山英康氏、入山文郎氏、多田 學氏

平山朝子氏、前田信雄氏

以上の説明の後、審議の結果承認され、明日開催の総会に諮ることになった。

第5号議案 第67回(平成20年度)日本公衆衛生学会総会について

實成理事長から、平成20年度の第67回学会総会は福岡大学医学部衛生学分野教授の畝博先生に学会長をお願いし、福岡県福岡市において開催したい旨提案があり、承認され、明日開催の総会に諮ることとなった。

なお、副学会長については学会長ならびに理事会に一任された。

以上で議事を終り、小西次期学会長、および次々期学会長(予定)畝博福岡大学医学部教授から挨拶があった後、議長が閉会を宣した。

平成18年度日本公衆衛生学会総会議事録

I. 日 時 平成18年10月25日(水)13:10~13:30

II. 場 所 富山県民会館 大ホール

学会規定第19条により鏡森定信学会長が議長となり開会を宣した。

総会議事に先立ち實成文彦理事長から、鏡森学会長をはじめ富山県、富山市、富山大学等関係者に対する謝辞を含めた挨拶があったのち、議事に入った。

III. 議 事

会務報告

大井田隆庶務担当理事から、平成17年度の学会会員、名誉会員、役員会等の庶務に関する事項、会誌の発行状況、平成17年度の収支決算について一括報告がなされ、収支決算については会誌に掲載する旨の報告があった。

岡崎勲監事から監査報告があった。

引き続き、大井田理事から昨日の評議員会で承認された平成19年度事業計画、平成19年度収入支出予算について報告があった。

第1号議案 名誉会員の推薦について

實成理事長から、学会規定に基づく名誉会員の推薦内規により選考された次の4名の方々に、名誉会員に推薦したい旨提案があり、略歴が紹介され、満場一致で承認された。

青山 英康氏 高知女子大学学長

入山 文郎氏 日本環境整備教育センター理事長

多田 學氏 島根医科大学名誉教授

平山 朝子氏 岐阜県立看護大学学長

前田 信雄氏 元札幌医科大学教授

第2号議案 第67回(平成20年)日本公衆衛生学会総会について

会総会について

實成理事長から、来年の第66回学会総会は平成19年10月24日から3日間、小西正光愛媛大学医学部教授に学会長をお願いして開催する旨報告があった。

平成20年の第67回学会総会については、昨日の評議員会の推薦に基づき、学会長は畝博福岡大学

医学部教授にお願いし、福岡県福岡市において開催したい旨提案がなされ、満場一致で承認された。なお、副学会長については学会長ならびに理事会に一任された。

以上で総会の審議を終了し、小西次期学会長と畝次々期学会長から挨拶があった後、議長が閉会を宣した。

収支計算書(案)

平成17年4月1日から18年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 平成17年度 予 算 | 決算額 | 差 異 | 備 考 |
|------------------|---------------|------------|------------|---|
| (収入の部) | | | | |
| 1 会員会費収入 | 64,000,000 | 69,288,000 | 5,288,000 | 8千円×8,651人 (17年度8,117人・64,936,000) (16年度534人・4,272,000) |
| 2 会誌掲載料収入 | 5,000,000 | 2,382,860 | △2,617,140 | 日本公衆衛生雑誌への掲載料 |
| 3 会誌投稿料収入 | 650,000 | 700,000 | 50,000 | 日本公衆衛生雑誌への投稿料 |
| 4 会誌広告料収入 | 1,300,000 | 656,000 | △644,000 | 日本公衆衛生雑誌の広告料 |
| 5 助成金収入 | 200,000 | 200,000 | 0 | 日本医学会 |
| 6 雑誌販売収入 | 1,200,000 | 2,207,680 | 1,007,680 | 日本公衆衛生雑誌の販売 |
| 7 特定預金取崩収入 | 9,694,435 | 9,696,972 | 2,537 | |
| 1) 備品購入積立預金取崩収入 | 6,969,028 | 6,972,369 | 3,341 | |
| 2) 選挙費用積立預金取崩収入 | 2,725,407 | 2,724,603 | △804 | |
| 8 雑収入 | 800,000 | 1,089,951 | 289,951 | |
| 1) 雑収入 | 800,000 | 1,087,318 | 287,318 | 雑誌データ利用許諾料金等 |
| 2) 受取利息 | 0 | 2,633 | 2,633 | 利息 |
| 当期収入合計(A) | 82,844,435 | 86,221,463 | 3,377,028 | |
| 前年度からの繰越金 | 3,098,166 | 3,098,166 | 0 | |
| 収入合計(B) | 85,942,601 | 89,319,629 | 3,377,028 | |
| (支出の部) | | | | |
| 管理費 | 27,030,000 | 26,186,934 | 843,066 | |
| 1 会議費 | 800,000 | 494,242 | 305,758 | |
| 1) 理事会費 | 600,000 | 323,493 | 276,507 | 会場費, 資料作成費等 |
| 2) 評議員会費 | 100,000 | 120,705 | △20,705 | 資料作成費等 |
| 3) 会議費 | 100,000 | 50,044 | 49,956 | 監査 |
| 2 旅費交通費 | 2,200,000 | 2,258,430 | △58,430 | 役員, 職員旅費 |
| 1) 理事会出席旅費 | 1,600,000 | 1,771,740 | △171,740 | |
| 2) その他旅費交通費 | 600,000 | 486,690 | 113,310 | |
| 3 通信運搬費 | 1,300,000 | 1,197,815 | 102,185 | 事務用郵便料, 電話料 |
| 4 消耗品費 | 350,000 | 365,404 | △15,404 | 事務用消耗品費 |
| 5 印刷製本費 | 600,000 | 299,680 | 300,320 | 理事会等資料 |
| 6 支払手数料 | 650,000 | 585,597 | 64,403 | 会費払込料金(加入者負担)等 |
| 7 諸謝金 | 800,000 | 754,369 | 45,631 | 理事会謝金 |
| 8 事務委託費 | 19,880,000 | 19,880,000 | 0 | 日本公衆衛生協会 |
| 9 雑費 | 450,000 | 351,397 | 98,603 | 保守料(パソコン・プリンター) |
| 事業費 | 43,850,000 | 41,826,223 | 2,023,777 | |
| 1 奨励事業費 | 400,000 | 1,782,923 | △1,382,923 | 表彰, 選考賞等 |
| 2 会誌発行費 | 35,450,000 | 29,588,745 | 5,861,255 | |
| 1) 編集費 | 4,950,000 | 5,192,850 | △242,850 | 編集委員会費用, 査読依頼費等 |
| (1) 会議費 | 400,000 | 277,925 | 122,075 | |
| (2) 旅費交通費 | 1,300,000 | 1,206,640 | 93,360 | |
| (3) 通信運搬費 | 600,000 | 870,950 | △270,950 | |
| (4) 消耗品費 | 100,000 | 4,714 | 95,286 | |
| (5) 印刷製本費 | 750,000 | 801,015 | △51,015 | |
| (6) 諸謝金 | 1,800,000 | 2,031,606 | △231,606 | |
| 2) 会誌作成発送費 | 30,500,000 | 24,395,895 | 6,104,105 | 雑誌作成・発送 |
| (1) 印刷製本費 | 20,000,000 | 15,657,492 | 4,342,508 | 製本費, 版下作成費等 |
| (2) 通信運搬費 | 10,000,000 | 8,312,954 | 1,687,046 | |
| (3) 雑費 | 500,000 | 425,449 | 74,551 | 発送用ラベル |
| 3 調査活動費 | 5,000,000 | 7,454,555 | △2,454,555 | 委員会活動費 |
| 4 総会負担金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 総会負担金 |
| 選挙関係費 | 4,500,000 | 1,456,591 | 3,043,409 | 会議費・印刷費・郵送費等 |
| IT化関係費 | 2,500,000 | 2,509,500 | △9,500 | 通信回線費・機器保守料等 |
| 特定積立預金支出 | 4,510,000 | 4,002,538 | 507,462 | |
| 1) 会員名簿積立預金支出 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | |
| 2) 選挙費用積立預金支出 | 1,000,000 | 2,000,000 | △1,000,000 | |
| 3) IT化関係費用積立預金支出 | 1,500,000 | 0 | 1,500,000 | |
| 4) 利息繰入金 | 10,000 | 2,538 | 7,462 | |
| 予備費 | 1,954,435 | 0 | 1,954,435 | |
| 当期支出合計(C) | 84,344,435 | 75,981,786 | 8,362,649 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | △1,500,000 | 10,239,677 | 11,739,677 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 1,598,166 | 13,337,843 | 11,739,677 | |

貸借対照表

平成18年 3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|---------------|------------|------------|
| I 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金 | 144,198 | |
| 普通預金 | 7,343,043 | |
| 振替貯金 | 6,673,169 | |
| 未収入金 | 609,125 | |
| 前払金 | 3,000,000 | |
| 仮払金 | 213,174 | |
| 流動資産合計 | | 17,982,709 |
| 2 固定資産 | | |
| 総会運営基金 | 3,533,751 | |
| 選挙費用積立預金 | 2,000,006 | |
| 会員名簿積立預金 | 2,000,000 | |
| 財政調整積立預金 | 64,143,090 | |
| 固定資産合計 | | 71,676,847 |
| 資産合計 | | 89,659,556 |
| II 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 4,276,866 | |
| 前受金 | 368,000 | |
| 流動負債合計 | | 4,644,866 |
| 負債合計 | | 4,644,866 |
| III 正味財産の部 | | |
| 正味財産 | | 85,014,690 |
| (内 当期正味財産増加分) | | 4,544,823 |
| 負債及び正味財産合計 | | 89,659,556 |

積立預金収支の部

平成18年3月31日現在

1) 総会運営基金 (単位：円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 前年度繰越金 | 3,532,902 | 次年度繰越金 | 3,533,751 |
| 受取利息 | 849 | | |
| 計 | 3,533,751 | 計 | 3,533,751 |

2) 選挙費用積立預金 (単位：円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 前年度繰越金 | 2,725,011 | 残高証明書手数料 | 420 |
| 17年度繰入 | 2,000,000 | 取崩額 | 2,724,603 |
| 受取利息 | 18 | 次年度繰越金 | 2,000,006 |
| 計 | 4,725,029 | 計 | 4,725,029 |

3) 備品購入等積立預金 (単位：円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 前年度繰越金 | 6,970,698 | 取崩額 | 6,972,369 |
| 受取利息 | 1,671 | 次年度繰越金 | 0 |
| 計 | 6,972,369 | 計 | 6,972,369 |

4) 会員名簿積立預金 (単位：円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 前年度繰越金 | 0 | 次年度繰越金 | 2,000,000 |
| 17年度繰入 | 2,000,000 | | |
| 受取利息 | 0 | | |
| 計 | 2,000,000 | 計 | 2,000,000 |

5) 財政調整積立預金 (単位：円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|------------|--------|------------|
| 前年度繰越金 | 64,143,090 | 次年度繰越金 | 64,143,090 |
| 計 | 64,143,090 | 計 | 64,143,090 |

財 産 目 録

平成18年 3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 摘 要 | 金 額 |
|----------|--------------|------------|
| (資産の部) | | |
| I 流動資産 | | |
| 1 現金・預金 | | |
| 現金 | 現金手許有高 | 144,198 |
| 普通預金 | 三井住友銀行新宿通支店 | 7,343,043 |
| 振替預金 | | 6,673,169 |
| 2 未収入金 | | |
| 掲載料 | 3月号他掲載料 | 504,705 |
| 広告料 | 3月号他広告料 | 104,420 |
| 3 前払金 | 第64回総会事務局 | 3,000,000 |
| 4 仮払金 | 2月分コピー代等 | 213,174 |
| | 流動資産合計 | 17,982,709 |
| II 固定資産 | | |
| 総会運営基金 | 三井住友銀行新宿通支店 | 3,533,751 |
| 選挙費用積立預金 | UFJ 信託銀行新宿支店 | 2,000,006 |
| 会員名簿積立預金 | 三井住友銀行新宿通支店 | 2,000,000 |
| 財政調整積立預金 | 三井住友銀行東京公務部 | 64,143,090 |
| | 固定資産合計 | 71,676,847 |
| | 資 産 合 計 | 89,659,556 |
| (負債の部) | | |
| I 流動負債 | | |
| 1 未払金 | 3月号印刷・発送 | 4,276,866 |
| 2 前受金 | 17年度会費他 | 368,000 |
| | 流動負債合計 | 4,644,866 |
| | 負 債 合 計 | 4,644,866 |
| | 正 味 財 産 | 85,014,690 |

平成17年度監査報告書

平成17年度日本公衆衛生学会事業報告書(案)及び収入支出決算書(案)に基づいて会計帳簿、証憑書類、預金通帳、関係書類等をもとに監査した結果、業務ならびに会計処理が適正に運営・管理され、資産が貸借対照表どおりに管理されていることを確認したので報告します。

平成18年 7月20日

監事 宮 武 光 吉 監事 岡 崎 勲 